

たまちゃん通信

平成 30 年 3 月発行 97-3

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10 番 1 号

TEL：0897-32-0302 / FAX：0897-32-0311

e-mail:honbu@otedama.jp URL：http://www.otedama.jp

留学生 40 人が「お手玉遊び」体験

はぴねす外語学院に笑顔あふれる

新居浜市の社会福祉法人はぴねす福祉会(長野文彦理事長・日本のお手玉の会副会長)が運営する「はぴねす外語学院」で、「お手玉遊び」体験講座が、平成 30 年 2 月 26 日(月)、27 日(火)に行なわれ、フィリピン、台湾、インドネシア、ベトナムなどからの留学生 40 人が受講しました。



講師は、日本のお手玉の会の武田信之理事が担当しました。

講座は、お手玉の歴史から始まり、留

学生は 4 千年の歴史に驚き、紀元前からお手玉として使われていた現物の「羊の骨のお手玉」(写真左上)を見せると、代わる代わる手に取って、大はしゃぎでした。

それぞれの国に、お手玉遊びはあって、ボール状のお手玉を使っているとのことで、座布団型の日本のお手玉を配ると、ほとんどの留学生は、両手 2 個ゆりができました。(写真右下)

そこで、両手 2 個ゆりのポイントを説明しました。上に上げたお手玉は、頭より 20 センチ高く上げることで、目線が上になり姿勢がよくなる。利き手から上げるだけでなく、利き手でない方からも上げることで、脳が活性化して、正しい判断ができるようになり、創造力も増す...ことを話しました。(写真右上)

みなさんがスマホを持っていたので、スマホばかりしていたり、スマホのゲームにふけていると、脳がおかしくなって、「ゲーム障害」になる恐れがあることを話し、「ゲーム障害」にならないために、お手玉をしましようと呼びかけました。

さらに、両手に持ったお手玉を同時に、同じ高さになるように上に上げる。次に、両手にお手玉を持ち、手の甲を上にして前に差し出し、手を開き素早くお手玉をつかむ。お手玉を親指と人差し指、親指と中指とつまみながら順番に送る。次に、両手 2 個ゆりを、利き手からと利き手でない方の手からと、交互に行う。



これを、「うさぎとかめ」を歌いながらやりましたが、みなさん上手に歌って、うまくできました。また、みんなでお手玉 1 個ずつ持って輪になり、「桃太郎」を歌いながら、「お手玉回し」をしましたが、上手に歌うことができました。しかし、お手玉を送れなくて、一人で何個も持っていたり、お手玉を持っていない人がいたりしました。そのたびに、歓声と笑顔があっ



楽しい時間を過ごすことができました。(写真左下)